

コロナ禍が続く中でオンライン教育が定着してきている。キャンパスに学生が集まることに意味があることは当然だが、オンライン教育の活用を増やすことにも大いに意義がある。要は

日本の未来を考える

学習院大教授 伊藤元重



この二つをどう組み合わせたいのかということだろう。少し前に、ある高校関係者から興味深い話を聞いた。最近自宅にいながらにしてオンラインで予備校の授業が受けられる

が、そこに登場する有名講師の授業は受講生に高い評価を受けているようで、予備校の授業を受けて初めて理解ができたという感想を持つ生徒も多いという。そうした授業を熱心に受け

オンライン教育活用術

で聞けるのに、なぜ先生の手まらない授業を聞かなくてはいけないのだと反発する。教育関係者には笑えない話だ。高校などではオンライン教育が、教室での教育に変革を迫ろうとしているのだ。オンライン

授業は全国レベルで厳しい競争が展開されており、そこで勝ち残るためには受講生に高い評価を得られるような授業でなくてはならない。教室で生徒と対面で授業ができるという強みを持つ多くの教師にとっても、そ

*この記事・写真は産経新聞社の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。